

2018 オートバックス全日本カート選手権

OK部門 第1戦·第2戦

開催場所 鉛鹿サーキット(三重県) 開催日 4月21日・22日 参加台数 OK クラス 26台

天候 晴れ 路面狀況 ドライ

~INTREPID JAPAN CORSE~ 監督:佐藤奨二 ドライバー:佐藤匹望/小野皓稀

メカニック:伊藤進/伊藤照之 エンジン担当:K SPEED WIN アドバイザー:井上寶之



2018 全日本カート選手権 いよいよ開幕(もてぎ/第 182 戦)

今年度もいよいよ全日本カート選手権が開幕。開幕の地はツインリンクもてぎ北ショートコース。ブリデストン、ヨコハマ、ダンロップという3つのタイヤメーカーがスペシャルタイヤでしのぎを削る世界でも稀にみるカテゴリーとなっている。ワークスチームである INTREPID JAPAN CORSE は最高峰カテゴリー3 年目の佐藤IS望と新加入、ROTAX MAX 日本チャンピオンの小野皓稀のドライバー2 名を擁しタイトル獲得を狙う。



佐藤 巧望選手



水野 皓稀選手







【タイムトライアル】 小野 15 位 / 佐藤 17 位

21日土曜日の 15 時過ぎから始まった OK クラスのタイムトライアル、上位はヨコハマ、ブリヂストン、ダンロップと 3 大タイヤメーカー三つ巴ともいえる様相。佐藤、水野の両ドライバーはタイムを36.2 秒台にそろえるが、なんとそこにはコンマ 1 秒の中に 10 台のドライバーがひしめく流石のレ



ベル。タイムこそ悪くないものの、順位を 15 位(水野)と 17 位(佐藤)に落としてしまう。また、さら後方にも実力ドライバーひしめき 17 時過ぎから行われる予選ではさらなる気温低下に対応したセッティングと中盤以降とは言え、日本トップレベルの選手が集まるカテゴリーでいかにタイヤを残しながら、上位でゴールをするかがキーとなる。

【第1戦 予選】 佐藤 9位 / 水野 14位

予選は土曜日の気温も下がり始めた PM17~スタート、佐藤は若干順位を落としながら、小野はまずまずのスタートを決める。先ほどのタイムトライアルから気温はかなり下がったようで、タイムトライアルで好調だったドライバーのペースが上がらなかったり、タイムトライアルで下位に沈んだ選手が追い上げたりと全体的に順位の入れ替わりが多くみられた。スタートで順位を落とした佐藤はトップで走る選手と遜色ないか、それ以上のタイムで追い上げるもののラインを外すなどミスも目立った。結局、佐藤は 9 位、小野は 14 位で予選を終え明日の決勝へ挑むことになる。



【第1戦決勝】佐藤8位/沈野19位



第1戦の決勝は日曜日朝の9時26分にスタート。1週のスタートディレイの後、大きな混乱はなくスタート。スタート直後から前方で激しい順位争いの為、戦列は長く伸びず上位陣でも1つのミスで大きく順位を落としかねない状況に。佐藤、水野ともに序盤はペースが良く前の選手をパッシング、順位を上げていく。しかし周回を重ねるごとに徐々に優れたペースは失われ、ア~12位集団での混戦に巻き込まれる。その後、佐藤は予選から順位を1つ上げ8位、水野は12位でゴールするものの接触によりフロントスポイラーが脱落。10秒加算のペナルティを受けて19位となった。

【第2戦 予選】 小野 10位 / 佐藤 リタイア

第1戦から約2時間のインターバルを置いてOKクラスは第2戦の予選をスタート、気温はグングン上昇し4月の栃爪とは思えぬ状況に。各タイヤメーカーの予想に狂いが生じ始めたか、レースはブリヂストンとヨコハマの熾烈な争いへと変化を始める。このOKクラスでROTAX MAXの日本チャンピオン、小野は苦戦を続けているが、早くもこの2戦目から徐々にドライビングをアジャスト、吸収力と適応力の高さをうかがわせる。TOP5のベストラップには及ばなかったが、早くも中盤では上位のタイムを記録、



レースラインやレース戦術も徐々に上手く決まり始めたように思える。リザルトとしては 10 位であったが、今後につながるレースとなった。またこの予選レースでは佐藤が 8 位前後を走行中に前方のマシンの右リアタイヤに佐藤駆るマシンの左フロントが接触。佐藤は宙を舞いながらグラデルにつかまり。着他の際と思われるが、腕を負傷。うずくまってしまう。この行為により佐藤は既にリタイヤではあったものの、審判団から危険行為として失格の処分が下り、順位としては最下位となった。このアクシデントにより佐藤は第 2 戦の決勝に出場が出来ない程の負傷を負い、リタイア届を提出した。

【第2戦決勝】小野12位



残念ながら、佐藤IS望を欠いて、午後15:30 に始まった第2 戦の決勝、大きなアクシデントもなくスタート。 小野は序盤ペースも良く、中盤とは言え実績ある選手もパス。 またレース展開やラインも対応力を発揮し12位ではあったものの、次戦に期待を持てるレースを行う。後半、若干エンジンのガスが薄くなり数台にパスされる場面があったが、この茂爪大会で急速な進化を見せた小野。 次戦が楽しみなレースとなった。

ドライバー 佐藤15望 コメント



第1戦

まずタイトラは自分のミスで下位に沈んでしまいました。 予選のオープニングラップでできるだけ順位を上げようと思いました。 気温が下がり、ペースもよく順位を上げることができました。 決勝は気温が上がりタイヤマネージメントが上手く出来ず 結果8位ゴールでした。

第2戦

第1戦の予選のペースがよかったので、少しでも順位を上げるべく プッシュしていたのですが、 行き焦ってしまい、 クラッシュしてしまいました。 レースペースは悪くないのですが、 一発の速さが足りてないことが実感 できたので次戦のレース復帰時には克服して、 帰って来たいと思います。

ドライバー 小野皓稀 コメント



今回の茂木大会では初の OK でのレースという事もあり 色々と戸惑ったりしましたがチームの皆さんと協力し合い、 無事にレースを完走することができました。

今回のレースで自分が感じたのは

自分自身の順応力の低さだと思いました。

次戦は順応力を上げもっと上位を目指したいです。

INTREPID JAPAN CORSE 佐藤奨二 監督



開幕戦を迎えるにあたり昨年の弱点を克服するべくさまざまな作業を進めてきました。 2 台体制になり、レースウィークの進め方等今までにない課題に新たに直面しましたが、 2 人のドライバー&メカのお蔭で上手く進める事が出来たと思います。 まだまだシャーシの秘めたる物を引き出す事が出来ておらず今回あまり良いリザルトは残せませんでしたが、 しっかり分析し次戦に繋げて行けるようチーム一丸で努力したいと思います。







































